

# 岩国駅前南地区 市街地再開発ニュース

岩国駅前南地区市街地再開発準備組合

岩国市麻里布町 1-4-3 新岩国ビル 2 階

TEL 0827-35-5150 FAX 0827-35-5151

## いわき、成田へ視察

## 意見交換をはかる

平成 26 年 11 月 7 日（金）8 日（土）の両日、岩国商工会議所小売商業部会主催の福島県被災地視察の一環として、駅前再開発取り組みの現状を学ぶべく、いわき・成田に視察を行いました。

いわき駅前再開発ビル「ラトブ」は平成23年の東日本大震災にもかかわらず、見事に立ち直



り、売り上げは年々増加の一途をたどっています。情報交換の中で、いろいろな苦労話や貴重な助言等を頂きました。

ラトブ建設と並行して、駅周辺再生拠点整備事業（駅ビル、広場、自由通路）が進められ、いわき市の中心市街地の一角として、魅力ある駅前に変貌しています。

いわき駅南口から見たラトブ PM4:30 撮影

### ラトブ開業と現況

施設構成 B1F. B2F. M2F 駐車場 1～3F 商業施設 4F 市民サービスセンター  
4. 5F 図書館 6F 商工会議所. 産業創造館 7. 8F 業務オフィス

いわき市（人口 326 千人）の陸の玄関口は平地区（人口 98 千人）であり、福島県浜通り地方の最大の商業地区でもある。江戸時代は磐城平藩として徳川譜代大名が治める城下町であった。

平成 19 年 10 月 25 日、ラトブがオープンした。その後、いわき駅の橋上駅舎や南口広場（デッキ）などが完成したが、平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生（いわき市で震度 6 弱）。さらに度重なる地震、原発問題で休館を余儀なくされたが、5 月末には館内の殆どが再開した。震災後、耐震ビルとの評価で空室のオフィスがすぐ埋まった。平成 24 年には南北自由通路も完成。駅周辺整備、復興需要あいまって、売り上げは増加している。

公益施設としては図書館（公設公営 10:00～21:00）、市民サービスセンター、商工会議所、産業創造館が入居している。商業施設の営業時間は 10:00～20:00。駐車場（400 台収容）の利用が好調で、本館来館者以外の利用客も多い。



ラトブとの意見交換



ラトブ(左奥) 多目的スペース(手前) 駅(右) AM6:30 撮影

いわきでの説明者 (正面)

(株)ラトブコーポレーション 代表取締役  
 〃 施設管理課長

成田駅前には国際空港を擁する成田市（人口131千人）の玄関口として、また成田山新勝寺の門前町として中心的な役割を担っているにも拘らず、老朽建物が立地し、低未利用地が広がっていました。成田市が再開発の事業主体として施行しており、公益施設としては多目的ホール（300名収容）が入る予定です。マンションの70戸は一般募集前に完売したとのことです。来年3月の完成を目指して工事を進めています。

今回の視察で得たことを、今後のまちづくりに大いに役立てていければと思います。



駐車場棟  
 B1F～5F  
 (205台  
 収容)

(仮称)JR 成田駅東口再開発ビル

施設棟 6F～15F 住宅  
 3F～ 5F ホール、公益施設  
 B1F～2F 商業施設



成田での意見交換

成田での説明者 (左)

(株)アール・アイ・エー 計画一部副主任

**11月 理事会で審議された事項**

日時：H26/11/19

内容：視察報告

中心市街地活性化協議会報告

**編集後記** 本年3月、政府は南海トラフ地震の防災対策を進めるための基本計画を決定しました。それによると国の有識者会議では、岩国は震度6強、最大津波高（満潮位含む）3mを想定しています。（ちなみに全国での最大津波高は高知県黒潮町で34m）。今回視察した東日本大震災被災地（いわき市久之浜町）の情景は決して他人事として眺めることはできません。これからのまちづくりには防災・減災の面から想定できる対策は十分に進めていかねばならないと痛感しました。 事務局 工藤